

1. 科目名 (単位数)	国語科指導法 (書写を含む) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2311
2. 授業担当教員	駒井 隆治		SJMP2391
4. 授業形態	講義 演習 グループ討議 発表 実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	<p>国語科は全教科の基礎基本であり、中心的教科である。そのため、人間形成や社会力及び創造力の基礎となる国語科の指導者として必須の知識への理解と実践力の基礎を育てるのがねらいである。そこで本講義では、学習指導要領に示された〔思考力, 判断力, 表現力等〕の内容である「A 話すこと・聞くこと」領域、「B 書くこと」領域、「C 読むこと」領域に基づき、各学年に応じた目標、内容及び指導法についての理解と実践力を育てるようにする。</p> <p>特に、指導法に関しては単なる理解ではなく、発表や討論、模擬授業等を通して指導技術の習得を図る。また、教材や学習活動の開発創造を大切にする意欲的態度を育てる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校学習指導要領国語について概観し、目標や内容について説明できるようになる。 2. 各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになる。 3. 小学校の具体的な国語教材を基に、教材研究、指導案作成、模擬授業などを行い、小学校国語科の学習指導の実際を体験的に身に付ける。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>国語科指導法は実技を中心に行う。ノート等の紙・鉛筆 (B、2B) を用意して授業を受けること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回、授業終了前に授業内容についてのリアクションペーパーを提出する。 2. 作文 (小論文) の実作を 2 回提出する。 3. 期末レポート (1,000 字) を提出する。(期末試験とする。) 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>◎毎回の授業内でテキスト・資料等を提示する。</p> <p>【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領 (平成 29 年度告示) 解説 国語編』東洋館出版、2018 江守賢治『漢字筆順ハンドブック 第四版』三省堂、2021</p> <p>【参考書】 長谷川祥子『はじめて学ぶ人のための国語科教育学概説 小学校』明治図書、2018</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校国語科の目標や内容について説明できるようになったか。 2. 各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになったか。 3. 小学校国語科の学習指導を行う上で必要な教材研究、指導案作成、授業実践等の知識・技能を体験的に身に付けることができたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業態度 50%</p> <p>模擬授業等 30%</p> <p>期末試験 20%</p> <p>上記のほか、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の条件である。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>国語科教育で最も大切なことは、児童生徒に社会生活で通用する言葉の力をつけることです。そのための教材研究と授業における発問課題の研究を重視します。特に小学校国語科教科書教材を取り上げて発問を考える等、実践に即した授業を行います。児童生徒にわかりやすい教え方を習得するとともに、学ぶ意欲を助長する指導法を身につける積極的な学修を期待します。</p>		
13. オフィスアワー	初回の授業で知らせます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	【オリエンテーション】講義の概要や成績評価の方法等を知る。筆順の基本的知識を理解する。	事前学習	小学校学習指導要領「国語編」を調べる。
		事後学習	国語科教育の目的・内容を理解する。
第 2 回	○論理的的文章と小論文の関係を調べる。	事前学習	文章を読み、キーワードを指摘する。
		事後学習	「読む」と「書く」のかかわりを確かめる。
第 3 回	○論理的的文章の読み方を研究する (低・中学年)。	事前学習	低・中学年の論理的的文章の教材を読む。
		事後学習	低・中学年の論理的的文章の読み方を理解する。
第 4 回	○論理的的文章の読解の方法を研究する。(高学年)	事前学習	高学年の説明的文章の教材を読む。
		事後学習	高学年の論理的的文章の読解の技法を理解する。
第 5 回	○誰でも書ける「小論文 (作文)」の書き方指導法を研究する。	事前学習	「書くこと」目標・内容を読む。
		事後学習	「書くこと」の基本的な技法を理解する。
第 6 回	○小論文 (作文) の書き方を磨く —子どもへの指導法—	事前学習	小論文 (作文) の題を決める。
		事後学習	小論文 (作文) の書き方を身につける。
第 7 回	○説明的文章を「読む」ことと「書く」こととの関連について研究する。	事前学習	言葉の理解と表現について調べる。
		事後学習	理解と表現の論理的思考について理解する。
第 8 回	○書写教材を研究する。書写 (硬筆) を研究する。(テキスト②を使用)	事前学習	硬筆書写の課題を考えてくる。
		事後学習	文字の正しい形を実際に書く。
第 9 回	○書写教材を研究する。書写 (毛筆) を研究する。	事前学習	毛筆書写の課題を考えてくる。
		事後学習	文字の正しい形を実際に書く。
第 10 回	○言語活動としての「話す・聞く」学習の指導法を研究する。	事前学習	「話す・聞く」活動のねらいを調べる。
		事後学習	「話す・聞く」の意義と内容を理解する。

第11回	○「話す・聞く」の学習 —スピーチを実演する—	事前学習	スピーチの題を決めておく。
		事後学習	スピーチのやり方を習得する。
第12回	○物語文（低中学年）の教材研究をする。	事前学習	低中学年の物語教材を読む。
		事後学習	低中学年の物語文の発問のポイントを理解する。
第13回	○物語文（高学年）の教材研究をする。	事前学習	指定された物語文を読む。
		事後学習	物語文の発問の原理・原則を理解する。
第14回	○国語科の評価の観点を理解し、学習指導案の書き方を学ぶ。	事前学習	学習指導案の例を調べる。
		事後学習	物語文の学習指導案を作成する。
第15回	○物語文の模擬授業を体験する。	事前学習	模擬授業の準備をする。
		事後学習	模擬授業からの学びをまとめる。
期末試験			